
☆僕の初恋をキミに捧ぐ☆ 『幸せ未来～祝21歳！～』

るき

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

☆僕の初恋をキミに捧ぐ☆ 『幸せ未来〜祝21歳!〜』

【Nコード】

N4521I

【作者名】

るき

【あらすじ】

※※ネタバレ注意※※※

20歳までしか生きられない心臓病の逞。タイムリミットまであと2年で病状が悪化し、心臓手術を受ける。はたして成功か、失敗か。脳死で目を閉じ続ける昂サマは？漫画「僕キミ」最終話の続きです。
+α人物紹介つき。後書きに頼登場のおまけ小説つき。

(前書き)

〓〓人物紹介〓〓

【垣野内 逞】
かきのうち たくま

《18歳。紫堂高3年。男子寮・寮長。心臓病患者。》
幼い頃から心臓病を患い、20歳までの命と言われた。病状が悪化し、心臓移植の話が舞い込むが移植される心臓が尊敬する先輩のものだと悟り、また、脳死が人の死と受け入れられない為に移植を拒否。絶望の淵に立たされた逞だったが、移植やバチスタに代わる新しい心臓手術を受ける事に。手術前に婚姻届を出し、病院で繭と結婚式を挙げた。

【種田 繭】
たねだ まゆ

《18歳。紫堂高3年。女子寮・寮長》
逞の主治医・種田医師の娘。幼馴染の逞と病院にて結婚式を挙げた。心臓病の逞を愛し支える。

【鈴谷 律】
すずや りつ

《18歳。紫堂高3年。》
逞の中学の時から親友。心臓病の逞を気遣い、陰から支える。

【鈴谷 昂】
すずや こう

《20歳。大学生。アルバイト・家庭教師》
紫堂高の卒業生で逞の尊敬する先輩。交通事故に巻き込まれ、その影響で脳死になった。倒れる直前にドナーカードの心臓の所に○を入れていた。その為この心臓が逞に移植される予定だったが、脳死が人の死だと受け入れられない昂の家族が拒否。いまでも病院のベッドで眠り続け、目を覚まさない。

た。
” “ 僕は20歳までしか生きられないと言われまし

【 島崎大学病院…手術室 】

——ピ——ピ——ピ——

規則正しい機会音が響く。

「ではこれより手術を開始します。メス」

患者名…垣野内 かきのうち 逞 たくま

年齢…18歳

性別…男

病名…心臓病

手術内容…iPS細胞を使った新しい心臓手術（術例・
成功例、共に1件）

執刀医…種田医師

16時間後——。

“手術中”、そのライトが消えた。

扉が開き、種田医師が出てくる。

その場に居た逞の両親、そして繭は種田医師の元に駆け寄った。

「種田さん、逞は！！！！？？」 「パパ！逞は無事なの！！！！？」

種田医師はマスクを外し――――。

「手術は無事、成功しました。おめでとうございます。逞君は――――助かりました」

「パパ……………っ……………、逞……………大丈夫なのね？もう20歳を過ぎても……………死んだりしないのね？逞はこれからずっと生きるのよね……………っ！」

「ああ、彼はこれからもずっと私達の前に居るよ」

「種田さん、いや、医師……………！！！！本当に……………本当に、ありがとうございます……………！！！！！！！！！！」

「お父さん、お母さん。私より逞君を褒めてあげて下さい。彼は必死に闘ったんです。病氣と」

「……………はいっ！！！！！！」

その場に居た誰もが、喜び、涙した。

翌日の朝刊。

『執刀医は島崎大学病院、心臓外科医・種田医師！！心臓病患者、世界で2例目となるiPS細胞使用の開心臓手術に成功！！！！』

新聞一面を大きく飾った。
インタビュ―…（記）今一番したい事は何ですか？（逞）とにかく
思いつき走りたいです！！！！

【 島崎大学病院…一般病棟個室305号室・鈴谷^{すずや} 昂^{こう} 様 】

昂の弟の鈴谷 律^{りつ}は新聞を目にしていた。

「兄ちゃん、すげーだろ！！？逞、手術成功したんだぜ！！！！？難
しい手術で、しかも世界で2例目だって！！逞のやつ、あれから数
時間で目が覚めてさ、ほら！ここ！写真！見える？逞、元気になっ
たんだぜ！！？すげーだろ！！！！」

脳死で人工呼吸器をつけて眠る昂に律が新聞を見せる。
新聞の写真にはVサインをした笑顔の逞が写っていた。

――ピク。

昂の指先が動く。

「……………兄ちゃん？」

閉じていた昂の目がゆっくり開いた。

「……………兄……………ちゃん……………？兄ちゃん！！俺、俺がわかる？
！俺だよ、律……………！！！！なあ、わかる……………！！？」

昂が……………、頷いた。

「やっぱ繭の白無垢は綺麗だよな」

新郎・垣野内 逞。

「も、もう！あんまりジロジロ見ないでよ、恥ずかしいじゃない！」

新婦・種田 繭。

「いーじゃん！うんうん、綺麗っ」

「そういう逞こそ！」

「え？」

「その袴、かっこいいよ？」

ガタガタ————、襖が開いた。

「よっ！結婚おめでとう！」

「昂サマ………！」 「先輩………！」

「逞、もう姫を泣かせるなよな？」

「うん、わかってる。色々ありがとう、昂サマ」

「それから姫？よかったな、絶対幸せになれよ。2人とも幸せにな」

「先輩こそお嫁さん貰って早く幸せになってくださいね」

「フフフ、よくぞ聞いてくれました☆」

昂はバツとヒョウ柄の扇子を広げた。

「実はさ、結婚するんだ俺。プロポーズしたの♪」

《結婚式…参列者名簿》

かきのうち
垣野内家親族

種田家親族
 鈴木 昂すずや こう
 鈴木 律すずや りつ
 鈴木 小百合すずや さゆり
 田村 結子たむら ゆいこ
 生田 成実いくた なるみ
 神尾 耕太郎かみお こうたろう
 五十嵐 優実いがらし ゆみ

桜が舞い散り――、

袴姿の逞と白無垢の繭が並んで歩く。

「和式の結婚式」。

12歳の小学校の修学旅行の時にココで見た、

その時に誓った。

よう。

大人になったら絶対ここで結婚式を挙げ

そして今――――。

学旅行生。

あの時と同じように周りにはたくさんの小さな修

ている。

6年前の新郎新婦が歩いた道を僕らは歩い

「「わー、綺麗」」

「「すみませーんっ！写真撮ってもいいですかー？」」

「もちろん、いいよ」「いいわよ」

カシャ。

思いっきり走って、思いっきり運動して。

甘いものをいっぱい食べて。

えーと、それから……………。

ああ何だっけ。

したい事いっぱいまでとまらないや。

とにかく！

子供がいっぱい居る幸せな家庭を築きたい。

これから先何十年もずっと繭と一緒に生きる。

祝、21歳☆

神様、僕は幸せです！

(後書き)

「僕妹」に続き「僕キミ」、祝・実写映画化！映画はまだ観に行っていないませんが、原作では逞が死んだとも生きているとも取れるラスト。

(私は生きている派です。)→の小説のような結末もありかなーと思って作りました。昂サマも復活です。そんで五十嵐ちゃんと結婚です。この漫画で臓器提供とか脳死について深く考えさせられました。とてもいい漫画です。泣けます！！「僕キミ」大好き！

以下はおまけ小説です。実は、「僕妹」の頼^{より}＋α^{いく}郁を仁和寺の逞と繭の結婚式に参加させるつもりが。よく考えたら頼、失踪中だった……………！で←のようなおまけ小説が生まれました。

〓おまけ小説〓 仁和寺での結婚式の数日後。

(電話) トウルルルル…………トウルルルル…………トウルルルル…………
ガチャ。

逞「————はい、垣野内です」

? 『お久し振りです、先輩♪覚えてます？俺の事』

逞「…………その声、もしかして結城…………え！？結城 頼^{より}！！？」

頼『正解？結城頼です』

逞「うわー、久し振りじゃん！！元気にしてた！？」

頼『俺はいつでも元気ですよ♪それよりもニュース見ました。病からの生還おめでとうございます。心臓病だったんですね。言ってくればよかったのに』

逞「それは俺自身の問題だったし。うん、ありがとう結城」

頼『それともう一つ。本当にやってのけちゃいましたね、俺が彼女にしてやりたくても一生出来ない“結婚”。おめでとうございます』

逞「ありがとう」

頼『ラブラブですか？繭さんと』

逞「うん、超ラブラブ！好きな人と一緒に居られるのってすごい幸せだよ。結城の方こそどうなの？妹の郁ちゃんぐいと」

頼『ありゃ、知ってたんですか。僕の彼女の事』

逞「俺、一応寮長だぜ？名簿持ってるし。で？どうなの？ラブラブ？」

頼『……………実は俺、弁護士でも目指そうかなと思って勉強しながら日本の外で働いてそこで暮らしているんです。親にも内緒で一人で』

逞「日本の外……………？って外国！！？親に内緒って、お前、まだ未成年だろ！！？つか、今どこに居んだよ！！？」

頼『……………ロンドン？』

逞「ロンドン！！！！？」

頼『あ、俺がロンドンに居る事は誰にも言わないで下さい。これは俺が決めた事なんです』

逞「……………郁ちゃんとは……………？」

頼『ラブラブだったけど離れました。試そうと思って。郁を好きになった事が運命ならきつとまたいつか出会えるかなって』

逞「……………そっか」

頼『……………うわっ、やば。もうこんな時間だ。俺、今から仕事なんです。もし日本に戻るような事があったら遊びに行きますね』

逞「うん、元気でな！風邪、引くなよ」

頼『了解。先輩こそお元気で。じゃ』

……………ガチャン。ツー、ツー、ツー。

おまけ小説、終了。で、この続きが「僕妹」最終回のラストというわけです。あのロンドンの。

【追加】10月23日

ぬえええええー！！！！！！？久々にこの小説のアクセス解析見たらア、アクセス数が……………！！！！皆様、読んでくれてありがとうございます（号泣）！！！！で、これってやっぱり21日テレビで映画を放送したからですよ？私はかなり前にDVDレンタルして観たけど、21日のテレビ放送でも観ました。どんな映画にも賛否両論ってあると思います。原作を知っているだけに私はあのラストはちょっとショックでした。逞の遺書、これ、一番原作通りにやってほしかったな。ハッキリ言って実写で見たかった原作の感動シーンが少なかったように思います。でも何だかんだ言ってテレビでも観てしまうほど結局は「僕キミ」映画が好き、だったります。本当にココにお越し下さりありがとうございます。機会があれば「僕キミ」以外の小説ものぞいてみて下さいね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4521i/>

☆僕の初恋をキミに捧ぐ☆ 『幸せ未来～祝21歳！～』

2011年11月16日10時00分発行